機械器具 22 検眼用器具

一般医療機器 細隙灯顕微鏡 (JMDN コード 35148000)

スリットランプ Elara 900

【禁忌·禁止】

揮発性溶剤(アルコール、ガソリンなど)や可燃性の 麻酔薬が使用されている爆発の危険性のある環境で本器 を使用しないこと。[爆発の危険がある]

【形状・構造及び原理等】

下記に外観を示す。詳細は取扱説明書 外観図を参照。



質量:15.2 kg

寸法: 401(W)×330(D)×560(H)

<アクセサリ類>

- ・電源ユニット
- 固視灯
- ・ブレスシールド
- ・あご台トレー (あご台)
- 額あて
- ・キャリブレーションクリップ

<体に接触する部分の組成>

額あて: PBT 樹脂 あご台: PBT 樹脂

・ 患者用ハンドグリップ: アルミニウム

<電気的定格等>

・定格電圧/電源入力:100V AC 50/60Hz / 2.0A

・電撃に対する保護の形式・程度: クラス I・B 型装着部

<動作環境>

温度:10℃~35℃ 相対湿度:30%~90%(結露なきこと) <原理>

光源からの照明光が集光レンズ、スリット機構、フィルタ 対物レンズを経て、ミラーにより反射されて被検眼に達する。 このようにして照らされた部位を双眼実体顕微鏡により観 察する

双眼実体顕微鏡は観察者の両眼に対応する左右独立した対 物レンズ、変倍光学系、正立プリズム、接眼レンズを持ち、 左右で生じる視差から観察部位を立体的に観察できる。

【使用目的又は効果】

<使用目的>

本器は、眼球等の観察、検査及び撮影に用いる細隙灯顕微鏡 である。また、他の機器と組み合わせ、眼圧の測定に用いる こともある。

【使用方法等】

取扱説明書参照。

<使用方法に関連する使用上の注意>

- (1)毎回新しい患者への使用前に、装置の患者が触れる部位 (額あて、あご台、ハンドグリップ) を消毒する必要が あります。詳細については、取扱説明書のメンテナンス の章を参照してください。
- (2) 光学部品 (照明ミラー部、実体顕微鏡等) は汚れやゴミ が付着しないように常に注意すること。使用後は電源を 必ず切った上で付属のダストカバーで器械を覆うこと。
- (3) 操作に際してスムーズな動作が不可能になった時は販 売店を通して専門技術者に修理を依頼すること。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- (1)本品の使用者は、医師及び医師の指示を受けた人だけに 限定すること。本器の使用は、如何なる場合も医師の指 示に基づいて行うこと。
- (2)カメラ機能は記録を目的としているため診断には用いな いこと。
- (3) 患者の眼は赤外線の波長の光に対して感知しないため自 然な防御反応を示しません。

<過剰使用>

- (1) 過剰に本器での観察又は測定を行った場合、光障害を起 こす恐れがある。
- (2) 明るさの設定は、標的構造を明瞭に視認するために必要 な明るさを超えてはなりません。
- (3) 最大光量で使用した場合 80 秒で安全ガイドライン
- (IS015004-2)に達します。 (4)子供、無水晶体症の患者、薬を服用している患者、眼疾 患のある患者は最もリスクが高いです。また、過去 24 時間以内に、同じまたは類似の可視光源を持つ機器に網 膜が曝露された場合にも、リスクが高まる可能性があり ます。例えば、フラッシュバルブを使用して網膜を撮影 した場合などです。

【保管方法及び有効期間等】

<保管条件>

温度:-10℃~55℃ 相対湿度:10~95%(結露なきこと)

気圧:700~1060hpa

<耐用期間>

8年(自己認証による。本体以外を除く。)

但し適切な保守点検及び修理を行っている場合に限る。 [保守用等の部品は製造中止後7年間保持]

【保守・点検に係る事項】

<保守点検>

取扱説明書 保守点検参照。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】 製造販売業者

ジャパン フォーカス株式会社 〒113-0033 東京都文京区本郷 4-37-18 TEL (03) 3815-2611 FAX (03) 3815-7284

外国製造業者 HAAG-STREIT AG スイス 緊急連絡先

ジャパンフォーカス株式会社 TEL (03)3815-2611 株式会社 JFC セールスプラン TEL (03) 5684-8531

取扱説明書を必ずご参照ください。